

エコアクション21

2023年度 環境経営レポート



(活動期間 2023年4月1日～2024年3月31日)

株式会社 ドプロ

発行日 2024年5月8日

も く じ

会 社 概 要	1
環 境 経 営 方 針	2
環境経営システム組織図	3
環境経営目標とその実績	4
2022年環境経営計画①	5
2023年環境経営計画①	7
環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	9
環境関連法規の遵守状況	23
代表者による全体評価と見直し結果	24

会 社 概 要

概 要

● 会社名 株式会社 ドプコ

本社 〒739-0443 広島県廿日市市沖塩屋2-10-6
● 所在地 資材置場〒739-0443 広島県廿日市市沖塩屋4-6323-1

● 代表者名 代表取締役 舟谷 清

● 環境管理責任者 舟谷 優一 TEL 0829 - 54 - 0955

● 設立年月日 昭和 61年 1月 16日

● 事業規模 従業員数 13名
敷地面積 80m²
売上高 百万円 (令和5年度)

● 事業内容 土木工事・建築工事・住宅リフォーム工事

● 建設業の許可 広島県知事許可 (特-1) 第19779号
広島県知事許可 (般-1) 第19779号

● 取引銀行 広島銀行 広島信用金庫

● URL <http://www.dopclifa.co.jp/>



株式会社 ドプコ × LIXIL



環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社ドブコは、「今、私たちが地域のために出来ること」を社会的責務と認識し、全事業活動において環境負荷の低減を図り、全社員が一丸となり、自主的・積極的に環境保全活動に取り組めます。

行動指針

● 日常業務における行動指針

- ① 省エネルギーの推進に努めます。
(電気 ・ 燃料 ・ CO2 使用量の削減)
- ② 水使用量の削減に努めます。
- ③ 一般廃棄物の削減に努めます。
- ④ グリーン購入の推進に努めます。
- ⑤ 地域貢献 広島県アダプト制度に協力します。
- ⑥ 法令等を厳守します。
環境法および環境保全に関する条例等を遵守します。

● 土木工事 ・ 住宅リフォーム工事における行動指針

土木工事

- ① 土木工事に伴う環境負荷の低減、二酸化炭素の排出量削減に努めます。
- ② 土木工事では環境に配慮した施工をします。

住宅リフォーム工事

- ① お客様のお家のecoリフォームを推進します。
ライフスタイルコンパスを通じて、お客様の望むイメージと一緒に考えます。

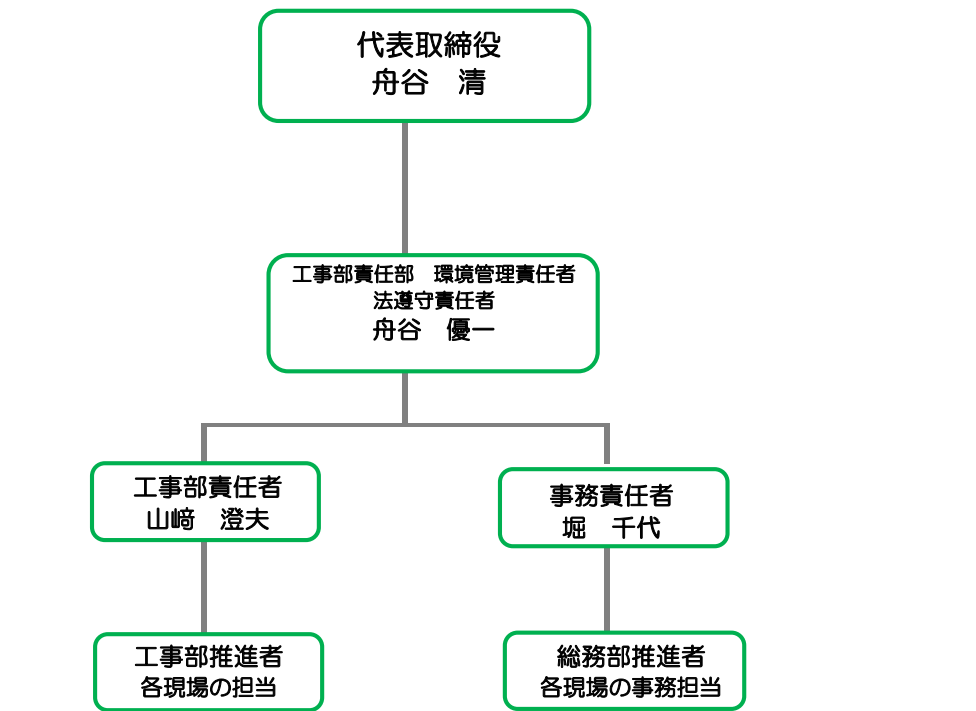
共通

- ① 資源を無駄にしないように材料のロスを出さない（リフューズ）、資源の消費や廃棄物削減（リデュース）、再使用（リユース）、再資源化（リサイクル）を行う4R運動を実施します。

この方針を全社員に、周知し、自ら役割を認識させ環境活動計画を責任を持って推進できるよう環境教育に進めます。

制定日 : 2017年 4月 1日
改定日 : 2017年 10月11日
株式会社 ドブコ
代表取締役 舟谷 清

環境経営システム組織図



各担当の役割

- 代表取締役
環境方針を定める、全体の評価・見直し
人材、資金の用意
- 工事部責任部
環境管理責任者
法遵守責任者
システムの策定、推進の見直し、教育の実施
環境関連法規の厳守状況の確認
環境関連法規の厳守状況の確認
- 工事部推進者
責任者の役割、責任、権限の周知徹底
取組状況の記録管理 提案書の作成
- 事務責任者
記録の作成・管理、システム運用上の事務管理
- 工事部推進者 各現場の担当
新たな取組の提案・推進
取組状況の記録作成・報告、現場管理
- 総務部推進者 各現場の担当
新たな取組の提案・推進
取組状況の記録作成・報告

環境経営目標とその実績

環境負荷・目標達成状況

e	単位	場所	2019年度	2021年度				目標 達成 判定	2022年度				2023年度	
			基準年度	目標削減率	目標	達成削減率	実績		削減率	目標	達成削減率	実績	削減率	目標
電気使用量の削減	kWh	事務所	12,365	▲2%	12,117.7	141.4	17,137.00	×	▲1.1%	12,229.0	141.2	17,273.00	▲1.2%	12,216.6
		現場	2,317.00	▲2%	2,270.7	24.8	563.00	○	▲1.1%	2,291.5	17.4	398.00	▲1.2%	2,289.2
ガソリン使用量の削減	ℓ	事務所	4,303.98	▲2%	4,217.9	124.3	5,243.29	×	▲1.1%	4,256.6	103.5	4,403.89	▲1.2%	4,252.3
		現場	11,406.19	▲2%	11,178.1	68.4	7,643.04	○	▲1.1%	11,280.7	60.8	6,860.50	▲1.2%	11,269.3
軽油の使用量の削減	ℓ	事務所	-	-		-	#REF!	-	-		-	#REF!	-	-
		現場	13,039.71	▲2%	12,778.9	468.2	59,828.39	×	▲1.1%	12,896.3	242.7	31,299.40	▲1.2%	12,883.2
CO2排出量の削減	kg-CO2	事務所	19,009.80	▲2%	18,629.6	65.3	12,164.43	○	▲1.1%	18,800.7	54.3	10,217.02	▲1.2%	18,781.7
		現場	62,316.88	▲2%	61,070.5	29.0	17,731.85	○	▲1.1%	61,631.4	25.8	15,916.36	▲1.2%	61,569.1
		全体	81,326.68	▲2%	79,700.1	37.5	29,896.28	○	▲1.1	80,432.1	32.5	26,133.38	▲1.2%	80,350.8
水道水の削減	m ³	事務所	298	▲2%	292.0	144.8	423.00	×	▲1.1%	294.7	192.0	566.00	▲1.2%	294.4
一般廃棄物の削減	kg	事務所	316.1	▲2%	309.8	86.7	268.60	×	▲1.1%	309.8	207.5	642.90	▲1.2%	312.3
一般廃棄物のリサイクル率	%	事務所	100	-	100	-	100	○	-	100	-	100	-	100
グリーン購入の推進	品目	事務所	15/46	-	10/46	-	17/46	○	-	17/46	-	18/46	-	20/46
	%	現場	100	-	100	-	100	○	-	100	-	100	-	100
地域貢献活動アダプト制度	回	全体	3	-	3	-	3	○	-	3	-	3	-	3
環境配慮工事	件	現場	3	-	3	-	3	○	-	3	-	3	-	3
ライフスタイルコンパス	件	現場	44	-	24	-	3	○	-	36	-	2	-	48
4R再利用	%	現場	85	-	82	-	85	○	-	83	-	85	-	84
4R再資源化	%	現場	100	-	100	-	100	○	-	100	-	100	-	100
ドブコ祭り	回	全体	0	-	1	-	0	×	-	1	-	0	-	1

※CO2総排出量計算値

電気 : 1kwhにつき0.697kg-CO2

液化石油ガス : 1kgにつき3.00kg-CO2

ガソリン : 1 Lにつき 2.32kg-CO2

軽油 : 1 Lにつき 2.58kg-CO2

灯油 : 1 Lにつき 2.49kg-CO2

※化学物質の使用量が少ないため環境目標の策定は行わず
化学物質を適正に管理していることを定期的に確認します。

2023年活動計画 ①

● 日常業務における行動指針

二酸化炭素排出量の削減

環境方針	取組内容	2023年目標	責任者
電気使用量	電気はこまめに消す	4%削減	舟谷優一
	複合機は内蔵の人感センサーで必要のない時には自動で消灯し、稼働時間を抑え、無駄な電気代の削減をする		
	社内の照明をLEDに替える		
	エアコンの温度は 夏は28℃ 冬は20℃に設定する		
	エアコン稼働時はフィルター清掃を毎月する		
	エアコン不要な時期はブレーカーは切る		
	クールビズ、ウォームビズの徹底を推進する		

環境方針	取組内容	2023年目標	責任者
ガソリン使用量	燃費向上に直結するメンテナンスの実施 (タイヤの空気圧・エンジンオイル・バッテリー)		
	マ-走行、アイドリングストップの推進をする(エコドライブ教育の徹底)	4%削減	松尾浩
	自主点検の実施を推進する		
	個人別使用量の管理をする		

水使用量の削減

環境方針	取組内容	2023年目標	責任者
節水	水道蛇口の漏水確認(メーター器を確認)をする	4%削減	堀千代

一般廃棄物の削減

環境方針	取組内容	2023年目標	責任者
一般廃棄物量	コピー用紙の裏紙活用、封筒の再利用、コーヒー豆やお茶など(入りがす)は畑の肥料	4%削減	舟谷優一
リサイクル率	段ボール、新聞雑誌等の古紙リサイクル	100%	舟谷優一

グリーン購入率

環境方針	取組内容	2023年目標	責任者
グリーン購入	グリーン商品一覧表から選び購入する	21/46品目	中島華奈保

地域貢献

環境方針	取組内容	2023年目標	責任者
アダプト制度	地域の道路・河川の清掃をする	年3回	堀千代

2 0 2 3 年 活 動 計 画 ②

●土木工事 ・ 住宅リフォーム工事における行動指針

二酸化炭素排出量の削減

環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
電気使用量	現場で必要ない時は使用をしないようにする	4%削減	山崎澄夫

環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
ガソリン使用量	近隣の現場に行く際は、徒歩または自転車を利用する	4%削減	樽屋一雄
	現場ごとに車輛を決め使用台数を減らすようにする		

環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
軽油使用量	重機による空ぶかしをしないようにする 車輛のアイドリングストップを励行する	4%削減	松尾 浩

環境配慮

環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
土木・リフォーム工事	環境に配慮をした工事を施工する	1工事 3件以上	山崎澄夫 栗林英幸

環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
ライフスタイルコンパス	お客様にライフスタイルコンパスを通じてECOのご提案をする	年 36件	小野 優太

環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
4Rリユース	現場で発生した土は、再利用をする	83%	舟谷優一
4Rリサイクル	現場で発生した建設副産物はリサイクルをする	100%	

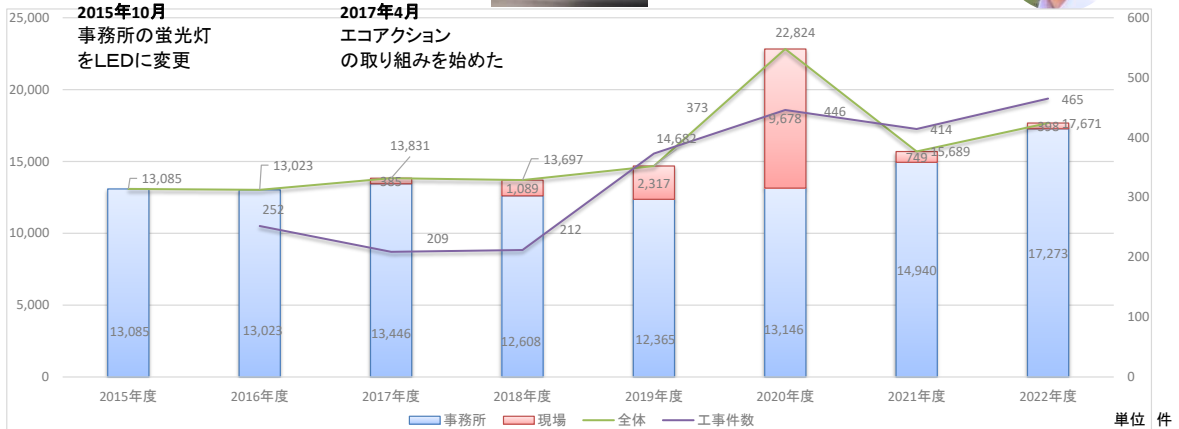
環境方針	取 組 内 容	2023年目標	責任者
ドブコ祭り	端材などを利用してお客様とDIYをする 端材などを無料であげる(イベント自粛中)	年1回(自粛中)	中島華奈 保

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ①

電気 【取組目標】 3%削減



担当 舟谷 優一



取組項目	担当者からひとこと
・電気はこまめに消す	人数が増え、増えた分だけ工事の件数も増えていきます。
・複合機を新しく導入し、電気だけではなく、金額の面でも削減を目指す。	その中での電気の削減は正直難しいです。
・エアコンの温度は夏は28℃冬は20℃に設定	目標は3%削減を目指しておりますが、その数値に
・エアコン稼働時はフィルター清掃を毎月する	近い削減を目指して社員一丸となり努力していきます。
・エアコン不要な時期はブレーカーは落とす	
・クールビズ・ウォームビズの徹底を推進	
・廊下の照明をLEDに替える	

取組結果の評価
人数・工事件数の増加に伴い、目標の3%削減には届きませんでした。
節電を掲げ、ブレーカーを落としたり窓を開けたりと努力はしております。
業務に支障がない程度にエアコンの調整などを行っておりますが、削減に至りませんでした。
前回に引き続き、社員の削減に対する意識は高く、それが反映できるようにするには・・・との課題があります。
これからも一丸となり、節電に取り組んでいきたいと思ひます。

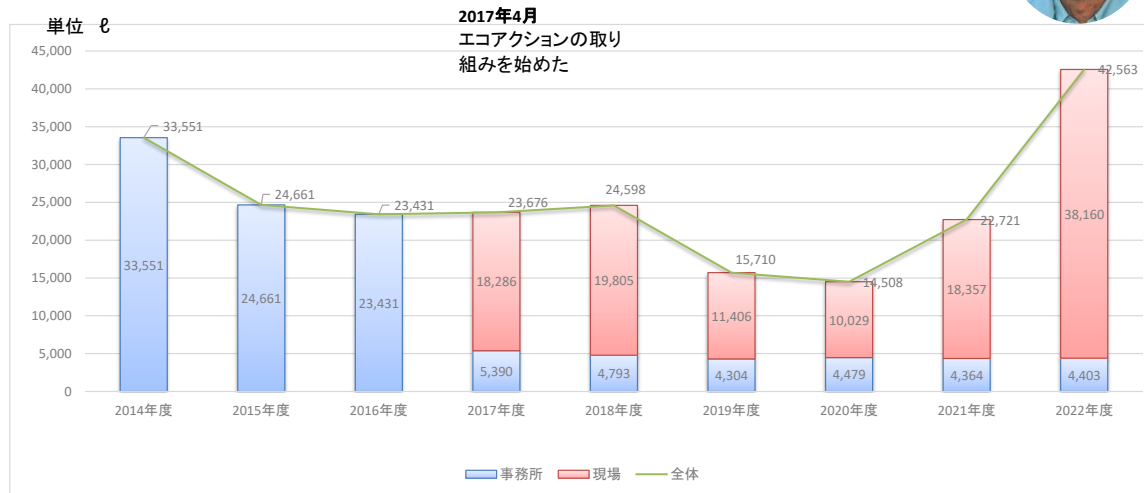
次年度の取組み
環境省が行っている先進的窓リノベ事業が始まっており、会社1階事務所の窓にインプラス（内窓）を設置してみたらどうだろうか。
エアコンなどの効きや、断熱の効果で電気代の削減の繋がるのではないだろうか。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ②

担当者

燃料 【取組目標】 ガソリン 軽油 3%削減

松尾 浩



取組結果の評価

社員が増え、現場も増えたことに伴い、ガソリンや軽油の使用量も増えました。

取組項目

- ・ マナー走行、アイドリングストップの推進
- ・ 自主点検の実施の推進
- ・ 個人別使用量の管理
- ・ 近隣の現場に行く際は、徒歩または自転車を利用
- ・ 現場ごとに車輛を決め乗りあって行く。
- ・ 重機による空ぶかしをしない
- ・ 燃費向上に直結するメンテナンスの実施
(タイヤの空気圧・エンジンオイル・バッテリー)



<https://www.recco.jp/ja/ecodrive/index.html>

エコドライブのためにこのツールを使用します。

担当者からひとこと

エコドライブ・アイドリングストップなど

社員が意識して運転しており、燃費の向上・燃料費の削減排出ガスを抑えるといった努力をしております。

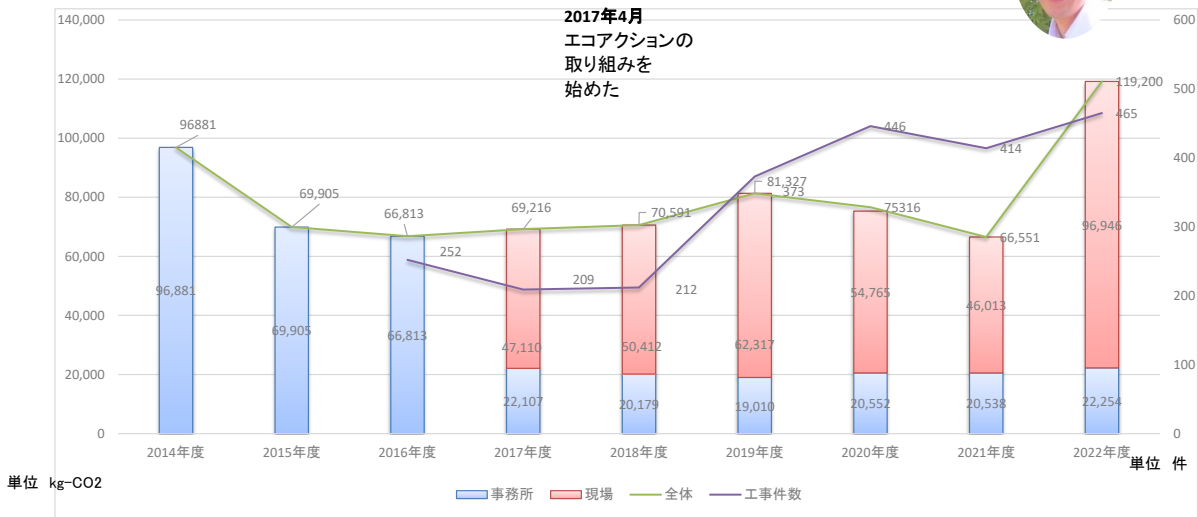
次年度の取組

次年度以降も取組を継続していく。
個人別使用量を更に日頃から確認しやすく目に留まるように掲示やしくみを考える

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ③

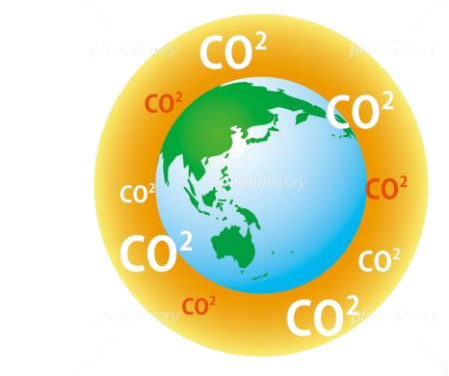
CO2 【取組目標】 3%削減

担当 舟谷 優一



取組項目
・電気量の削減
・燃費量の削減
・アイドリングストップ・エコドライブの推奨
・社員への婚活（こいのわプロジェクト）推進

取組結果の評価
前回に引き続き、事務所内ではエアコンと併用して夏は扇風機やシェードを下ろし日光を遮断して涼しく過ごしました。
冬はだるまストーブを使用しました。
現場での電気使用量、燃料削減は人間の数も増えたこともあり限界がありますので、今後も前回同様に現状維持を心がけ、コスト面でも余裕があれば環境配慮型製品の導入など視野に入れていきたいです。



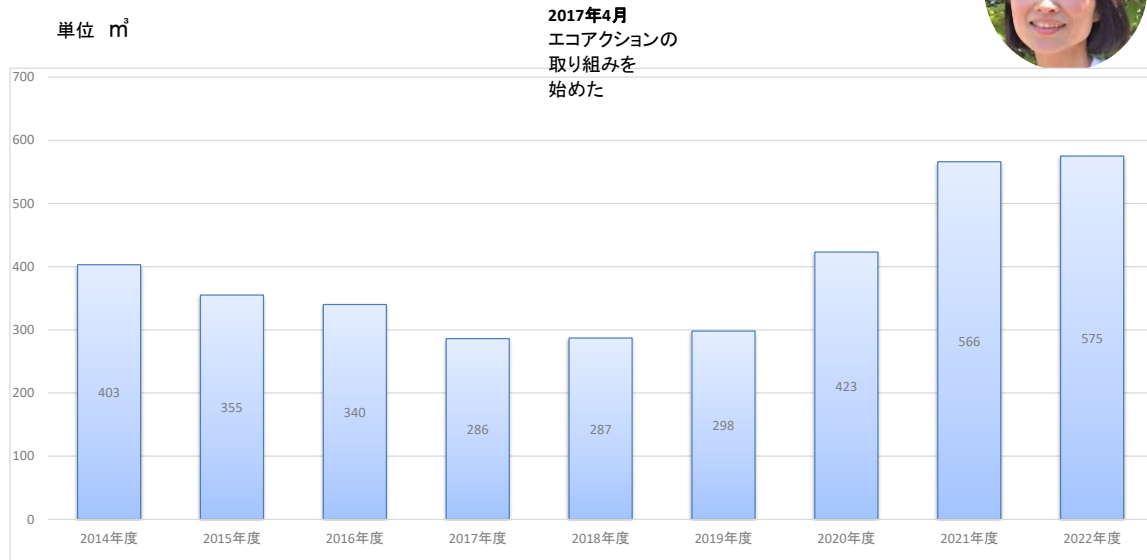
担当者からひとこと
今期は大変大きな農地整備工場があったため、軽油の使用が増えたため、燃費量が上がってしまいました。次回からは、現場での燃費量を少しでも減らせられるように協力会社とも協力し、少しでも削減するという意識を持って活動していきたいと思います。

次年度の取組
次年度以降も取組を継続していく。
新しい取り組みや、得する情報などはアンテナを張りたくさん吸収できるようにする。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ④

節水 【取組目標】 3%削減

担当 堀 千代



取組項目
・資材置き場（土場）や現場では貯めている雨水を有効利用
・水道蛇口の漏水・出しっぱなしがないか確認 （メーター器・水道代確認）
・タッチレス水栓の導入

取組結果の評価
基本的に水の無駄遣いはなく、前回に引き続き 社員の意識も高く削減に取り組んでいるのが 目に見えましたが、データの削減にはいきませんでした。



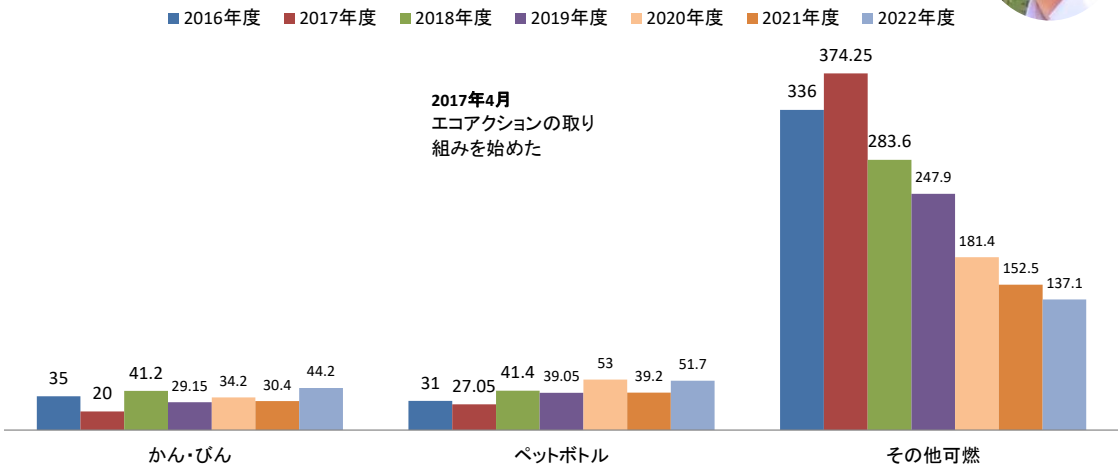
担当者からひとこと
コロナウイルスの影響もあり、うがい手洗いが基本的な 世の中になりました。その中で節水は難しいこともあります ので今回は目標達成には及びませんでした。
しかしながら、できる限りの節水を呼びかけ、 周知徹底をしていきたいと思っています。

次年度の取組
まだまだコロナの影響が続いておりますが、現時点での現状を維持しながらも、節水できる面があればミーティングの際に考 えていき、次年度以降も取組を継続していきたいと思っています
タッチレス水栓の導入で水の無駄遣いがなくなり、少しでも削減に繋がればと思います。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑤

一般廃棄物 【取組目標】 3%削減

担当 舟谷 優一



取組項目
・生ごみ処理機を導入し、出た生ごみは乾燥させ肥料として利用
・水筒持参を推奨
・出来る限りの分別を行い、資源にできる物はリサイクル
・割りばしを使わず箸を利用

取組結果の評価
人数が増えた分、夏などは現場に水分補給のための
ペットボトル飲料を持たせるなどしたため、プラの
ゴミ削減にはいたっていません。
しかしながら、可燃ごみになるごみを仕分け
紙などリサイクルとして分別などし
社員の意識の高さを感じます。



担当者からひとこと
格段に社員の意識は上がってきていると思います
しかし、可燃ごみのなかにリサイクルできる
紙が混じっていたりしますので、そこをもう少し
伝えていきたいと思っています。

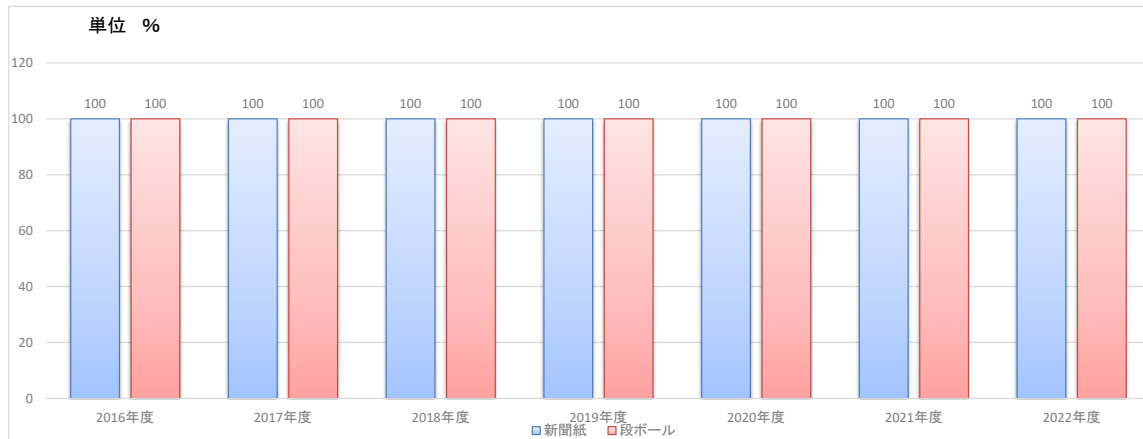
次年度の取組
ペットボトルではなく、水筒持参！！地球にも財布にも優しいを目指し、次年度も取り組んでいきます
少しでもごみを減らす努力をし、社員共々意識を高く、取組を継続していく。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑥

一般廃棄物 【取組目標】新聞紙、段ボール リサイクル 100%

2017年4月
エコアクションの取り組みを始めた

担当 舟谷 優一



取組項目
・新聞紙、雑誌、段ボールはリサイクル

取組結果の評価
2022年度も新聞紙、段ボールなどの量を減らすのは難しいので弊社では量を減らすという目標ではなく、リサイクル100%を目標にすることにしました。
目標は達成できました。



担当者からひとこと
新聞・段ボールはリサイクルセンターへ持ちこんでいます

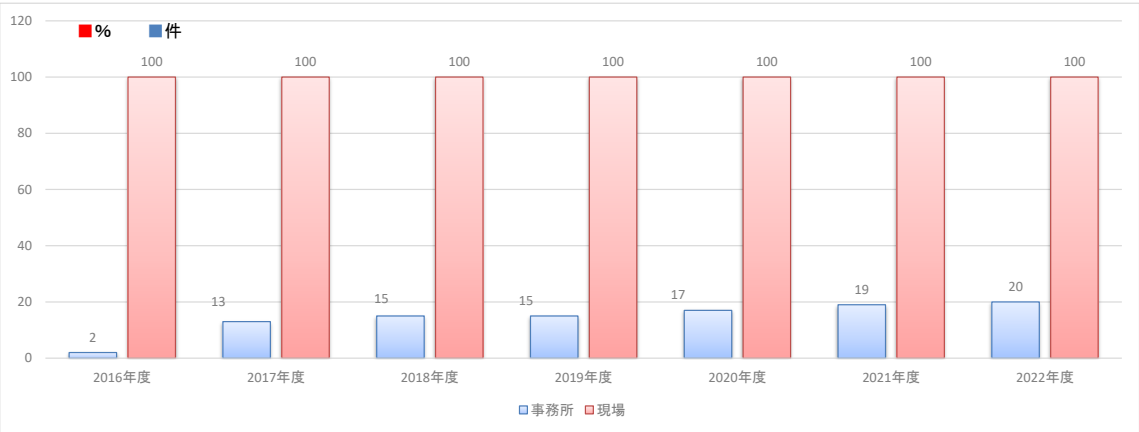
次年度の取組
新聞、段ボールだけではなく紙類もリサイクルセンターに持って行く。
次年度以降も取組を継続していく。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑦

グリーン購入の推進 【取組目標】 事務所 10品目 現場 100%

2017年4月
エコアクションの取り組みを始めた

担当 中島 華奈保



取組項目
・事務所内ではエコマーク商品を積極的に購入
・現場では再生資材を利用し100%購入

取組結果の評価
今年度もグリーン購入を意識し取り組んできた結果、目標達成になりました。事務用品はできる限りグリーン商品を利用しました。引き続き意識していこうと思います
前年度に引き続き現場では、役所からの指名工事の契約書の指示書の中に再生資材とある材料については再生資材を利用し、書いてないときには、逆に発注者に提案し目標達成することができました。



担当者からひとこと
年々グリーン商品登録が増えていますが、社員の意識が高くカタログを見ただけでどの商品がグリーン製品かわかるようになりつつあります。それでも発注時グリーン製品以外を発注しようとする、皆が一声かけてグリーン製品かの確認をするようにしています。
このまま継続していきます。

次年度の取組
必要な物を購入する際は、グリーン商品は無いかわかっているから購入をするようにする。
次年度以降も取組を継続していく。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑧

地域貢献 アダプト制度 【取組目標】 全体で 年3回 担当 堀 千代



↑ 看板



↑ 2022年6月実施



↑ 2023年1月実施



↑ 2023年3月実施

取組項目
地域貢献アダプト制度で清掃業務を年3回行う



社員からのひとこと
年3回ですが、アダプトを続けることにより社員の意識は格段に上がり、地域貢献、地域の清掃に積極的に取り組むようになってきたと思います
道だけでなく川の清掃も増やしましたので、更なる意識向上に努めていきたいと思います。

次年度の取組
年3回を継続し、次年度以降も行う。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度取組内容 ⑨

環境配慮工事 【取組目標】 現場の工事ごとに3件以上の配慮

担当者
原 友一郎



↑ 旧鳴川保育園解体工事

機械使用（低騒音・低排ガス）・バックホウ（低騒音、低排ガス）

他現場の急傾斜地崩壊対策工事で出た土砂を、解体工事の園庭に運び

他現場土砂流用を行いました。



↑ 現場周辺清掃



↑ 使用済ヘルメット回収



↑ 安全パトロール



取組項目
現場の工事ごとに3件の配慮

取組結果の評価
低騒音・低排ガス指定機械を利用
走行速度を落とす
建設発生土の現場内利用の促進
振動の小さい機械や工法への変更・見直しなどを行い
目標を達成できました。

担当者、現場代理人からひとこと
建設機械は低振動・低騒音・低排ガス対策型・低燃費の機械を使用しました。
今年度は発生土の現場内利用をする現場が少なかったですが、できる現場では実践しました。
現場では、材料ごとに仕分けをし、片付け清掃を心がけるよう声かけをしていきました。

次年度の取組
作業員一人一人が地域や近隣・エコのことを考えて配慮するんだという意識を持って取組たいと思っています
毎年ヘルメットを新しいものに替えていて、古いヘルメットは保存して必要な時に再利用しています。ヘルメットの政策会社がエコアプローチという古いヘルメットを回収する取り組みを行っていますので、今年度はそれに参加してみようと計画しております。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑩

担当者
栗林 英幸



環境配慮工事 【取組目標】 現場の工事ごとに3件以上の配慮



↑ 現場内養生状況



↑ 現場内整理整頓



↑ ゴミの分別



↑ 現場の清掃



↑ クッションフロアで養生



↑ 地域住民とのコミュニケーション
(ラジオ体操参加)

取組項目
現場の工事ごとに3件の配慮

取組結果の評価
シート養生はもちろん、余ったクッションフロア材を現場で敷き、その上に材料を置いています。
お施主さまからもただの青い養生シートでは味気ないので木目などの模様のクッションフロアで現場も彩り見え、余った材料を再利用ということで環境にも優しくをこころがけています

担当者、現場代理人からひとこと
今年度も前年同様お客様としっかりとコミュニケーションを取りながら工事を進めました。
工事開始前よりもキレイに心を掛けました。
ひとりでは見落とししてしまう汚れを、第三者の目でさらに確認し、お施主様にも気持ちよく引渡しができるように心がけました

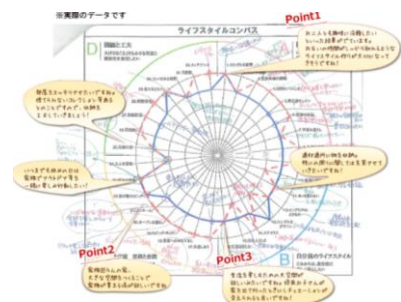
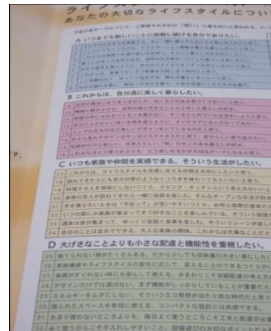
次年度の取組
リフォームの現場は、対お客様ですが隣人の方への配慮と環境への配慮は同じものだと考えております
それを分かりやすく、お客様にお伝えするツールが
現在配布している、ちらしやHPです
このツールを使い、たくさんのお客様に情報提供できればと思います。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑪

担当 小野 優太



ライフスタイルコンパス 【取組目標】 年 24件



↑ ライフスタイルコンパス
(お客様が本当に暮らしたいお家分かる深層心理テスト)

↑ 結果は羅針盤のようになっています

取組項目
お客様とライフスタイルコンパスを通じてECOの提案のお話をする
ライフスタイルコンパス年2件

取組結果の評価
今年度はコロナの影響もあり、このライフスタイルコンパスを使用する機会が少ないこともあり、目標には程遠い数字となってしまいましたが、少しずつお客様からの問い合わせが増えてきましたので、今年度は、コンパスをしっかりと活用し、エコなリフォームを提案していきたいと思います

お客様からのひとこと
口には出していない部分がグラフとして表れ、それに対してただ商品の提供をしてくるのではなく、断熱材を入れたり窓にフィルムを貼ってエアコンの効率を高めるなどの提案をしていただき、いいリフォームができたとともにとても勉強になりました

担当者からのひとこと
2022年度は4件活用しました。
コロナ禍の影響でお客様も人と接することを遠慮していたため、なかなかコンパスを使う機会がありませんでしたがお客さまが本当にしたいくらいにプラスして、環境に配慮した暮らし方を、これからもお伝えしていきたいです。

次年度の取組
たくさんのお客様に住まいのことを含めてお話をたくさんしていきたいです。
次年度以降も取組を継続していく。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑫

4R 再利用

【取組目標】 82%

担当 堀 千代



現場名 大野中央一丁目地区公共下水道整備工事（R2-7）



↑ 現場から発生した発生土を再利用

取組項目
現場にて発生した土を現場内利用しました。
基礎土の上に敷いているのが、その土です。

取組結果の評価
現場発生土は、そのまま処分場に運搬し処分にしますが
土の状態が良く、現場内利用として使用しました。
無駄な運搬費・処分費がなくなり、経済的にも
エコに繋がりました。

現場代理人からひとこと
この現場は下水道整備工事という下水接続に伴う工事でした
建設発生土は63m3でしたが、このうち33m3は現場内
利用として使用しました。
運搬費・処分費ともに削減できました。

担当者からひとこと
発注元は下水道課で、工事自体は二ヶ月程の現場でした。
発注元と受注者でしっかりと話し合い、一緒に物を作る意識
を高め、気持ちを共有することにより、資材など再利用するこ
とがより可能になるのでしっかりとコミュニケーションを
とりました。

次年度の取組
再利用できるものは、しっかり行き極力処分しないように努力できることはする。
次年度以降も取組を継続していく。

作成責任者 舟谷 優一
作成日 2023年 3月 1日

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑬

4R 再資源化 【取組目標】 100%
4月～3月までの産業廃棄物の集計表と再生資源化表

担当 舟谷 優一



添付書類参照

取組項目
再資源になるものは100%
担当者からひとこと
前年同様に極力地元の会社で処分や再生利用が出来る所にて搬出を心掛けました。しかし、西日本豪雨災害の影響もあり、木材やコンクリート製の受け入れストップだと言われて思い通りに処分することが出来ない時期もありましたが最終的には再生利用できる施設への搬出することが出来ました。

取組結果の評価
目標は達成できました。 しっかりと分別出来ているので数量的には増えていますが、このまま継続していききたいです。
次年度の取組
地元の企業と連結しながら、手をとりあって貢献できるところは努力をしていきます。 次年度以降も取組を継続していく。

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容 ⑭



ドブコ祭り 【取組目標】 年 1回

担当 中島 華奈保

コロナ禍でイベントがまだ開催できていないため、
会社で行っているコロナ対策についてをまとめました。



↑ 協力業者さまの検温風景



↑ マスク・消毒・アクリルパネル



↑ ハンドソープ・ペーパータオル



↑ タッチレス水栓

取組項目
コロナ禍でのマスク・手洗い・消毒薬を設置してます
来店された協力業者さまには検温の協力をお願いしてまいります
アクリルパネルを設置して飛沫防止に努めています
接触感染を防ぐため、手をかざすとハンドソープが出てきます
タッチレス水栓で人との接触を避け、なおかつ節水に努めます

取組結果の評価
ひとりひとりが気を付けないとこのコロナに打ち勝つことは できません。
意識を高く・・・エコと同じです。

担当者のひとこと
前年度に引き続き、コロナの影響で、今年度はイベントの予定 すら立ってはいません。
早くコロナが落ち着き、イベントが開催できるように 今はただ願うだけです。

環境関連法規の遵守状況

環境関連法規	適用条項	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	委託基準 委託先の許可確認 委託契約の締結	適
	第12条第2項	産業廃棄物保管基準	適
	第12条の2	事業者の特別管理産業廃棄物に係る処理	適
	第12条の3	マニフェスト票の回収・照合の写しを受けるまでの期間	適
	第12条の3第1項	マニフェスト票の交付	適
	第12条の3第5項	マニフェスト票の写しの保管期間	適
	第12条の3第6項	マニフェスト票に関する知事への定期報告	適
	第12条の10	多量排出事業者の処理計画に関する手続き	適
		再委託基準の遵守	適
	第14条第13項	処理困難通知の受理	適
	第16条の2	野外焼却の禁止	適
労働安全衛生法	第21条3の3	下請人が産業廃棄物処理基準を遵守して、運搬できる	適
	第21条3の2	元請人だけではなく下請人も保管基準を遵守	適
指定副産物利用促進省令	第5条	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業 レベル1の場合 計画届提出	適
	第6条～第9条 第40条～第43条	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業 レベル2の場合 計画届提出、作業主任者の選定 事前調査結果等の表示 隔離作業範囲の拡大と義務の強化 作業環境測定 健康診断等 記録の保存	適
再生資源利用省令	第9条	指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	適
リサイクル法	第113号	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存	適
建設リサイクル法	第4条第1項	発生抑制 再利用 再生利用 再資源化努力	適
	第12条	特定建設資材の再資源化	適
	広島県に遵守する	再資源化された建設資材の使用	適
	第55号	解体工事事業許可の取得	適
	第13条	元請業者の書面の交付	適
	第12条2項	下請業者への告知	適
		下請負人に対する元請業者の指導	適
容器包装リサイクル法	第10条	計画等の届出	適
家電リサイクル法	第13条	容器包装廃棄物を適正に分別排出する	適
小型家電リサイクル法	第6条	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で処理する	適
建設廃棄物処理指針	第6条	国の認定を受けた業者へ引き渡し処理する	適
建設副産物適正処理推進要綱	第13条の2	マニフェストに基づく適正処理の実施	適
建設副産物適正処理推進要綱	遵守	発注者との連絡調整・管理及び施工体制の整備・協力業者の指導等 実施状況の記録を1年間保管	適
	遵守	自動車使用の合理化および効率化、運転者への教育、運送手段改善 アイドリングストップの励行	適
オフロード法	建設業に係る特定地域における自動車排出窒素酸化物の排出の抑制を図るための指針	第18条第1項 適合証明	適
建築基準法	第8条	石綿含有建材の使用禁止	適
	第20条の6	クロルビリホス添加建材の使用禁止	適
	第20条の7	ホルムアルデヒドに関する規制	適
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	第249条	排出ガス対策型であることの確認	適
騒音規制法	第1条	届出書提出	適
		作業敷地境界にて85デシベル以下	適
振動規制法	第1条	届出書提出	適
		作業敷地境界にて75デシベル以下	適
セメント及びセメント系の固材材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要綱	第16条の1	六価クロム溶出試験の実施	適
消防法	第9条の4	少量危険物の貯蔵・取扱の基準 市町村条例で定める届出	該当なし
建築物省エネ法	第53号	特定建築物を除く300㎡以上の建築物 計画届出	該当なし
道路交通法、道路法	第47条第1項	積載基準の遵守	適
建築工事公衆災害防止対策要綱（建築・土木）	第72 第73 第74	【地盤沈下】 付近居住者等への周知・埋設物の確認 土留工の管理 排水処理、杭鋼矢板の引抜き埋戻し時の地盤沈下防止の処置 掘削土排水時の塵芥・騒音防止の設置	適
	第17条	【電波障害】 受信障害除去対策を講ずる場合は、法に基づく届出や申請、並びにNHKへの届出等が必要	適
	第12条	【風塵対策】 付近居住者等への周知・現場に水をまく	適
作業所で同意するその他の要求事項	第5条の2第1項	廃棄物の発生抑制グリーン製品の使用に関する仕様書の該当部分をマークする	適
	土木工事仕様書遵守	時間外での作業は事前に連絡する 19時以降禁止	適
	第9項	粉塵の発生防止 アイドリングストップ	適
	土木工事仕様書遵守	発注者からの要望	適
フロン排出抑制法	第5条第2項	第一種特定製品の簡易点検記録 3ヶ月に1回	適
大気汚染防止法	第18条の15	当該解体等工事が特定工事に該当するか否かについてを設計図書、その他書面による調査	適

- 当社に適用となる主な環境法等は以上のとおりで、いずれの法規においても、法令を遵守し適切な施工・管理を行っており法令に抵触・違反はありませんでした。
また、過去3年間にわたって訴訟もありませんでした。

代表者による全体評価と見直し結果

- 今年度も「今、私たちが地域の為になにができるか」を合言葉に取り組んできました。少しずつ社員も増え、電力・燃料・水道等が必然的に増えていく中、どうしたら節電・削減に繋がるんだろうと社員一人一人が考え、取り組んでいく姿勢を感じました。今まで以上の努力が必要だが、少しでもエコに繋がるように頑張っていきたい。

項 目	見直し	評 価
電 力	見直しあり	人数が増えたため電力を抑えるのは難しいが社員全員で意識を高く持つ。現場は低燃費発電機の使用を推進する。
燃 料	見直しあり	現場は重機などの燃料である軽油の使用量や移動のためのガソリンの割合が大きいので、現場社員と一緒に考えながら削減への意識改革を行っていく。
排水量	一部見直しあり	人数が増え、給排水の増加はいたしかたないが社員一丸となり、できるだけ節水に努める。
CO2排出量	見直しあり	事務所に関しては問題なく良好である。現場はCO2排出量削減には限界があるので意識を持ち現状維持を心掛ける。
一般廃棄物処理量	問題なし 良好である	前回はその他可燃の大幅な削減ができていたので今後も継続していく。今年度もマイボトル・自炊の推進を進めていき、かん・ビン・ペットボトル・プラスチックの削減を行っていきたい。

- 今年度も社員ひとりひとりが高い意識を持ち、地球に優しい企業を目指します。また地域の方とコミュニケーションをとり、貢献するという気持ちを忘れず取り組みます。

- 今後も環境負荷の低減、廃棄物の削減を行い環境に関する法規則の遵守を徹底していきたいと考えております。社外への発信や・環境・エコ商品を積極的にお客様に提案し、更なる環境への取組の強化に努めます。